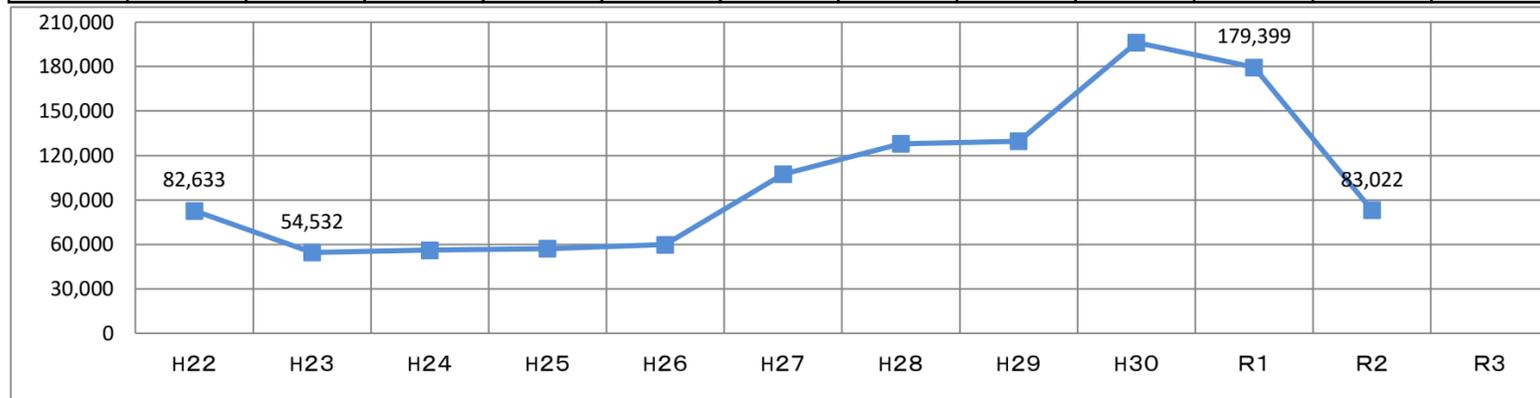


## 指標から見た施策の進捗状況と総括

## ○推進施策1 県民の文化活動の促進

## 1 県民カレッジ受講者数【目標値:200,000人(令和2年度)】

| 年度  | H22    | H23    | H24    | H25    | H26    | H27     | H28     | H29     | H30     | R1      | R2     | R3 |
|-----|--------|--------|--------|--------|--------|---------|---------|---------|---------|---------|--------|----|
| 実績値 | 82,633 | 54,532 | 56,063 | 57,105 | 59,843 | 107,380 | 127,989 | 129,669 | 196,207 | 179,399 | 83,022 |    |



|                |  |
|----------------|--|
| 指標の変動要因と今後の見通し | <ul style="list-style-type: none"> <li>・県庁内県民カレッジ連携講座受講者数 23,405人(前年30,260人)</li> <li>・市町村連携講座受講者数 59,617人(前年149,139人) 合計83,022人(前年179,399人)</li> <li>・県主催事業における県民カレッジ連携講座(受講者が一市町村に限らず、誰でも参加できる講座)については、開設要件を満たしているのか適正に判断し、実際の参加人数を計上している。</li> <li>・令和元年度以降の受講者数の落ち込みは、元年の秋の台風及び大雨被害、令和2年2月以降の新型コロナウイルス感染症感染拡大により、各種講座の中止が相次いだことによる大きな要因である。</li> </ul> |
| 課題             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・県内全域を対象にした講座にしているため、感染症対策やオンラインの導入、分散開催など、講座開催にあたり、工夫を図っていく必要がある。</li> <li>・関係機関と連携して魅力ある講座を工夫し、アナログ、デジタルの両方で情報提供を行っていく必要がある。</li> </ul>   |

## 2 学術・文化・芸術・スポーツを活動分野のひとつとしているNPOの認証数【目標値:470団体以上(令和2年度)】

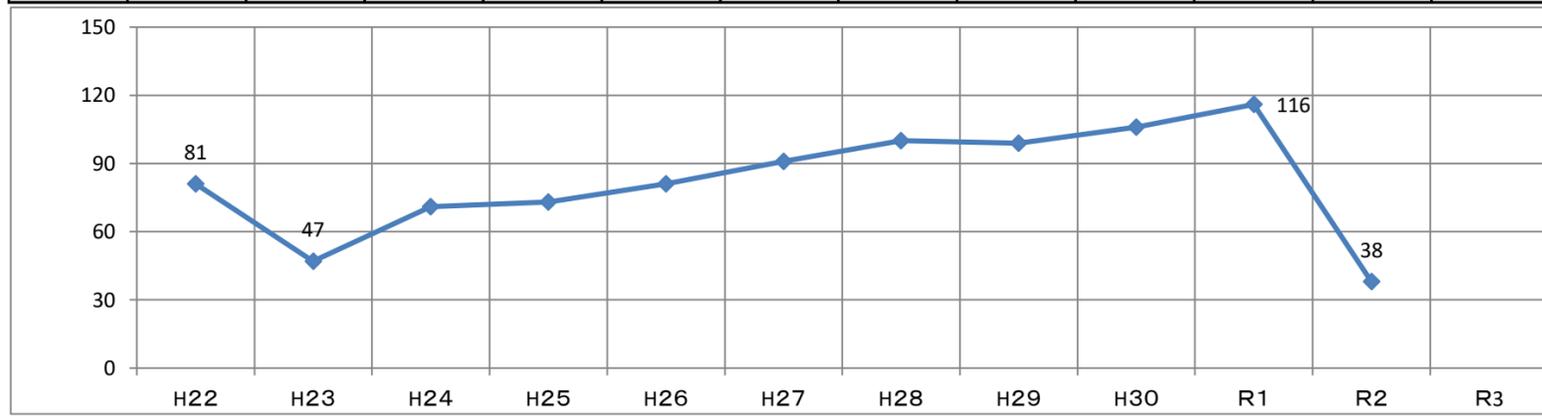
| 年度      | H23 | H24 | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | R1  | R2  | R3 |
|---------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|
| 実績値(累計) | 272 | 317 | 347 | 388 | 403 | 419 | 428 | 424 | 424 | 426 |    |



|                |   |
|----------------|---|
| 指標の変動要因と今後の見通し | <ul style="list-style-type: none"> <li>・認証件数は平成28年度以降420団体前後で推移している。</li> <li>・NPO法人全体の認証件数について、現在は、設立する法人と解散する法人が同程度で推移しているため、学術・文化・芸術・スポーツを活動分野のひとつとしているNPOの認証数も今後ほぼ横ばいで推移すると想定している。</li> </ul> |
| 課題             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・NPO法人が自立的かつ継続的な活動ができるよう、引き続き、運営力の強化に向けた、各種情報提供等を行っていく必要がある。</li> </ul>  |

### 3 福島県芸術祭参加行事数【目標値:108行事以上(令和2年度)】

| 年度  | H22 | H23 | H24 | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | R1  | R2 | R3 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|----|
| 実績値 | 81  | 47  | 71  | 73  | 81  | 91  | 100 | 99  | 106 | 116 | 38 |    |



|                |   |
|----------------|---|
| 指標の変動要因と今後の見通し | <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、令和2年度は当初予定していた行事の多くが中止されたため、参加行事数は大きく減少した。</li> <li>・令和3年度も感染拡大を受けて計画していた行事を中止した団体はあったが、感染拡大防止対策を十分に講じた上で実施する行事も増加し、令和2年度より行事数が増加する見込みである。</li> </ul>  |
| 課題             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・より多くの県民や団体に参加してもらえよう、福島県芸術文化団体連合会や市町村と連携を図り、芸術祭及び各団体の活動の更なる周知を行うことで芸術祭の認知度を高めるとともに、参加の呼び掛けを行っていく必要がある。</li> <li>・ウェブ配信などインターネットを活用した成果発表等の取組について、コロナ禍における「新しい生活様式」の実践としてだけでなく、より多くの県民に成果発表や鑑賞の機会を提供する手段の一つとして、福島県芸術文化団体連合会等と連携し、各団体に促進していく必要がある。</li> </ul> |

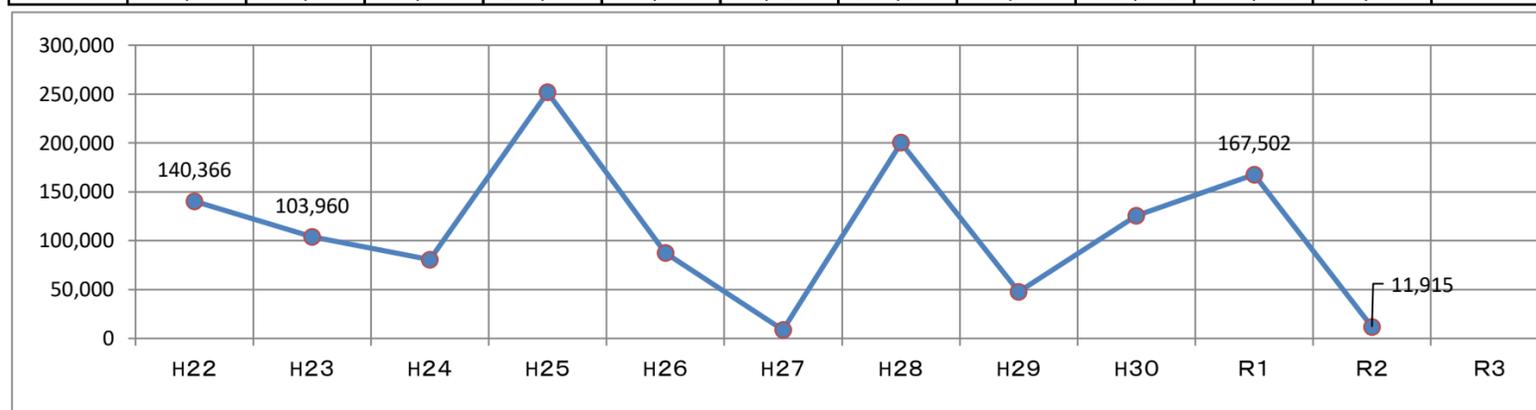
|         |  |
|---------|--|
| 推進施策の総括 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年以降コロナ禍の影響で、余儀なく文化活動の中止や延期をせざるを得ない事態が生じ、指標上の実績は大きく落ち込むことになったが、計画期間全体を通すと、市町村、関係団体等との連携を図ることにより、県民の文化に対する意識の醸成に努め、生涯学習に取り組む県民の増加、また、芸術祭への参加団体の増加につなげることができた。</li> <li>・今後も、市町村や関係団体等との連携を一層進め、県民への情報提供に努めることにより、コロナ禍で低調となった文化活動を以前の水準に回復させるとともに、県民の文化活動がより活発化するよう促進を図っていく必要がある。</li> </ul> |
|---------|--|

○推進施策2 芸術の鑑賞その他文化に接する機会の拡充

○推進施策4 文化活動を行う拠点の機能の充実

1 県立美術館の入館者数【目標値:120,000人以上(令和2年度)】

| 年度  | H22     | H23     | H24    | H25     | H26    | H27   | H28     | H29    | H30     | R1      | R2     | R3 |
|-----|---------|---------|--------|---------|--------|-------|---------|--------|---------|---------|--------|----|
| 実績値 | 140,366 | 103,960 | 80,631 | 251,646 | 87,576 | 8,728 | 200,278 | 47,545 | 125,652 | 167,502 | 11,915 |    |



|                |  |
|----------------|--|
| 指標の変動要因と今後の見通し | <ul style="list-style-type: none"> <li>令和元年度は大規模企画展の開催などにより、年度別目標を達成した。しかし、令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策による外出自粛等の影響を大きく受け、さらに9月以降は改修工事のため休館となり、入館者の確保が厳しかった。</li> <li>令和3年度は、5月下旬から展示を再開し入館者数が増加する見込み。</li> </ul> |
| 課題             | <ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍で落ち込んだ入館者数の回復を図っていく必要がある。</li> </ul>  |

2 県立博物館の入館者数【目標値:100,000人以上(令和2年度)】

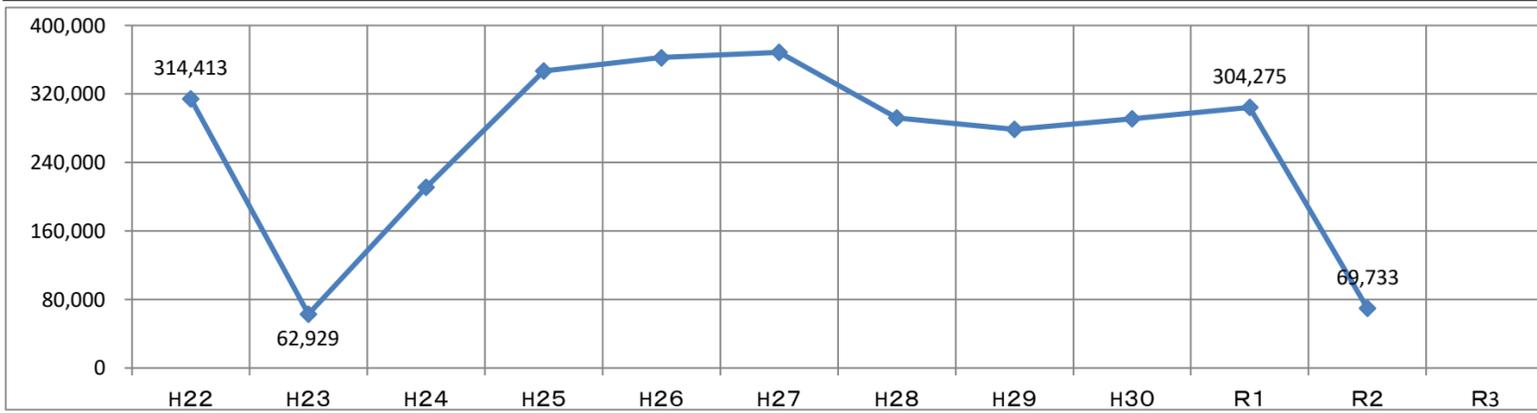
| 年度  | H22    | H23    | H24    | H25     | H26    | H27    | H28    | H29    | H30     | R1      | R2     | R3 |
|-----|--------|--------|--------|---------|--------|--------|--------|--------|---------|---------|--------|----|
| 実績値 | 95,556 | 82,048 | 83,401 | 109,838 | 63,739 | 66,509 | 61,073 | 70,443 | 110,903 | 105,439 | 58,284 |    |



|                |  |
|----------------|--|
| 指標の変動要因と今後の見通し | <ul style="list-style-type: none"> <li>令和元年度は企画展「興福寺と会津」の開催により、入館者数が伸び、目標値に到達することができた。しかし令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策による休館や外出自粛等の影響を大きく受け、入館者の確保が厳しかった。</li> <li>令和3年度以降については、世代を問わず楽しめるような企画展の開催を予定し、入館者数の増を図っていく見込みである。</li> </ul> |
| 課題             | <ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍で落ち込んだ入館者数の回復を図っていくとともに、文化観光促進法に基づく文化観光拠点施設として、会津地域の文化財や文化施設、観光施設などと連携し、文化の理解促進、文化観光の振興を図る必要があります。</li> </ul>   |

### 3 福島県文化センターの入館者数【目標値:345,800人以上(令和2年度)】

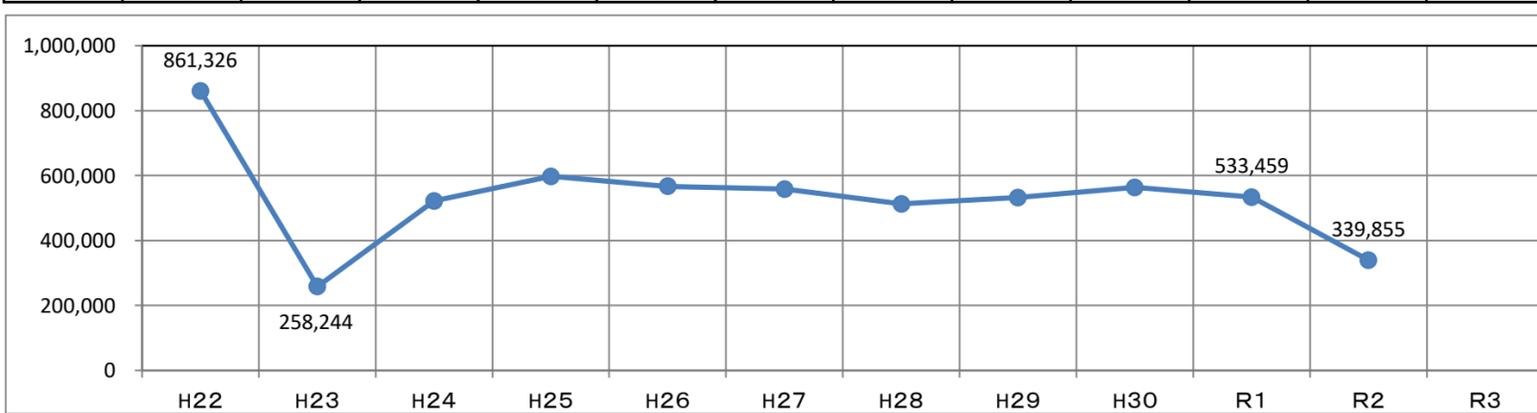
| 年度  | H22     | H23    | H24     | H25     | H26     | H27     | H28     | H29     | H30     | R1      | R2     | R3 |
|-----|---------|--------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|--------|----|
| 実績値 | 314,413 | 62,929 | 211,000 | 346,873 | 362,520 | 368,552 | 291,940 | 278,775 | 291,212 | 304,275 | 69,733 |    |



|                |   |
|----------------|---|
| 指標の変動要因と今後の見通し | <ul style="list-style-type: none"> <li>定期的なメンテナンスの他、施設老朽化の対応としてホールを休止して行う大規模改修工事(例:H28~H30)は、休館とせざるを得ないため、入館者数が減となる大きな要因となった。</li> <li>大規模な企画展や催し物があると入館者数は増加するが、企画内容などによる。</li> <li>新型コロナウイルス感染症の影響で令和2年度は多くの催事がキャンセルとなり、開催された催事も種類によっては観客数が制限されており、入館者数は大幅減となった。</li> </ul> |
| 課題             | <ul style="list-style-type: none"> <li>必要な改修工事を行いながら、開館日を確保していく必要がある。</li> </ul>  |

### 4 アクアマリンふくしまの入館者数【目標値:900,000人以上(令和2年度)】

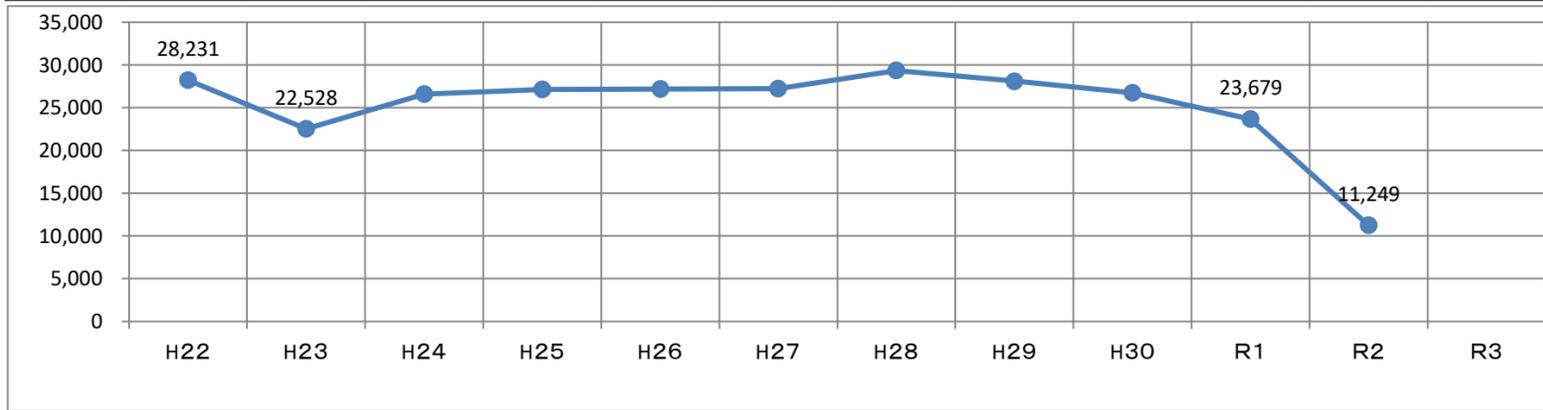
| 年度  | H22     | H23     | H24     | H25     | H26     | H27     | H28     | H29     | H30     | R1      | R2      | R3 |
|-----|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|----|
| 実績値 | 861,326 | 258,244 | 522,269 | 597,302 | 567,069 | 558,630 | 512,894 | 532,256 | 563,517 | 533,459 | 339,855 |    |



|                |  |
|----------------|--|
| 指標の変動要因と今後の見通し | <ul style="list-style-type: none"> <li>令和元年度は、10月の台風等の自然災害や、3月以降の新型コロナウイルス感染拡大の影響により前年度に対し約3万人の減少となった。</li> <li>令和2年度は、開館20周年記念企画展を複数実施したが、新型コロナウイルス感染拡大の影響が依然として大きく、入館者数が約20万人減と大幅に減少した。</li> </ul> |
| 課題             | <ul style="list-style-type: none"> <li>震災・原発事故による入館者数の落ち込みの影響が未だに続いており、平成22年度以前の水準を大きく下回っている。入館者数の回復に向け、魅力の向上や近隣競合施設との差別化などの取組みがより一層求められる。</li> </ul>  |

### 5 まほろんの入館者数【目標値:30,000人以上(令和2年度)】

| 年度  | H22    | H23    | H24    | H25    | H26    | H27    | H28    | H29    | H30    | R1     | R2     | R3 |
|-----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|----|
| 実績値 | 28,231 | 22,528 | 26,597 | 27,127 | 27,166 | 27,227 | 29,341 | 28,102 | 26,731 | 23,679 | 11,249 |    |



|                |   |
|----------------|---|
| 指標の変動要因と今後の見通し | <ul style="list-style-type: none"> <li>・近年、郡山市(H21:大安場史跡公園)や福島市(H27:じょーもぴあ宮畑)に類似施設がオープンしたこと、加えて「コミュタン福島」などが開設されたことや、来館数における大きな割合を占める小学校等において、カリキュラムが過密になったことなどもあり、学校からの入館者数が減少している。また、社会情勢的にも団体旅行が減少傾向にある。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の流行により、令和元年度の第4四半期以降来館者数が減少し、令和2年度は大幅な減少となった。</li> <li>・魅力ある企画・イベントの実施やより充実した情報提供などサービス向上に努め、観光とのタイアップを図っていく。</li> </ul> |
| 課題             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・リピーターの取り込みによる入館者の確保、県内外隣接地域の学校等に対するPRによる団体利用の確保などが課題である。</li> <li>・県広報メディア等を利用した周知による来館の促進に取り組んでいく必要がある。</li> </ul>   |

|                    |   |
|--------------------|---|
| 推進施策の総括<br>(推進施策2) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページ等で文化イベントを発信するとともに、企画展やワークショップ等の参加型事業を通じ、県民が文化芸術に親しむ機会の提供に努めた。</li> <li>・次期計画の策定においては、入館者数が企画展の内容に大きく左右されることや人口減少といった社会情勢の変化を踏まえ、目標値を検討する必要がある。</li> </ul> |
| 推進施策の総括<br>(推進施策4) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・県民の文化活動の中核的施設としての機能や展示・企画の充実に努めた。</li> <li>・施設の維持・補修に努めるとともに、文化施設相互の連携を促進することにより、県民がより利用しやすい施設づくりを図る必要がある。</li> </ul>   |

○推進施策3 青少年の文化活動の促進

1 青少年の県総合美術展覧会への出品数【目標値:250点以上(令和2年度)】

| 年度  | H22 | H23 | H24 | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | R1  | R2 | R3  |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|-----|
| 実績値 | 185 | 0   | 102 | 147 | 135 | 137 | 162 | 147 | 161 | 194 | 0  | 160 |

※震災により中止

※新型コロナにより中止



|                |   |
|----------------|---|
| 指標の変動要因と今後の見通し | <ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年度は、6月に県総合美術展覧会の開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から中止した。</li> <li>令和3年度は、感染防止対策を徹底した上で開催し、青少年の出品数は目標値には及ばないものの概ねコロナ禍前の水準を確保した。</li> </ul> |
| 課題             | <ul style="list-style-type: none"> <li>広報活動の強化や県内高校への出品呼び掛けを引き続き行う。</li> </ul>  |

2 青少年の県文学賞への応募数【目標値:55点以上(令和2年度)】

| 年度  | H23 | H24 | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|----|----|
| 実績値 | 73  | 38  | 34  | 37  | 56  | 26  | 47  | 82  | 36 | 69 | 71 |



|                |   |
|----------------|---|
| 指標の変動要因と今後の見通し | <ul style="list-style-type: none"> <li>受賞経験を持つ教員による出品呼び掛け・作品指導などの取組により、青少年の応募数は令和2年度に引き続き目標値を上回る実績を確保した。</li> </ul> |
| 課題             | <ul style="list-style-type: none"> <li>広報活動を強化するとともに、県内学校への呼び掛けを引き続き行う。</li> </ul>                                  |

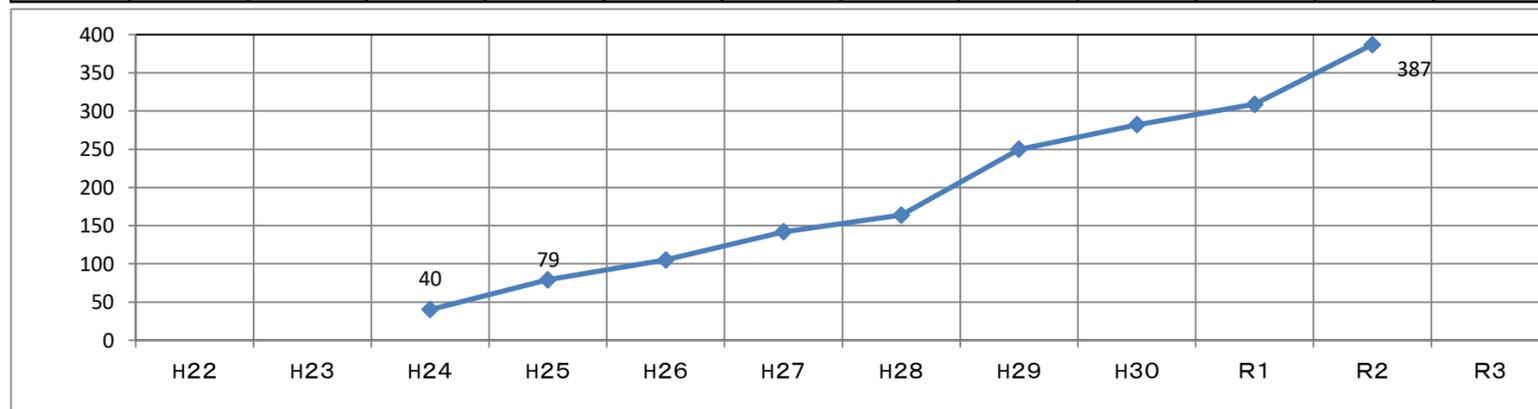
|         |  |
|---------|--|
| 推進施策の総括 | <ul style="list-style-type: none"> <li>県総合美術展覧会や県文学賞の開催及び作品募集等を通して、青少年の発表機会及び鑑賞機会を確保してきた。</li> <li>県立美術館と学校との連携共同ワークショップなどにより、子どもたちの創作意欲を高めた。</li> <li>次期計画の策定においては、人口減少及び少子化といった社会情勢の変化を踏まえ、目標値を検討する必要がある。</li> </ul> |
|---------|--|

○推進施策5 伝統文化の継承及び発展

1 地域伝統芸能交流会参加児童生徒数(ふるさとの祭り参加児童・生徒数)

【目標値:延べ360人以上(令和2年度)】

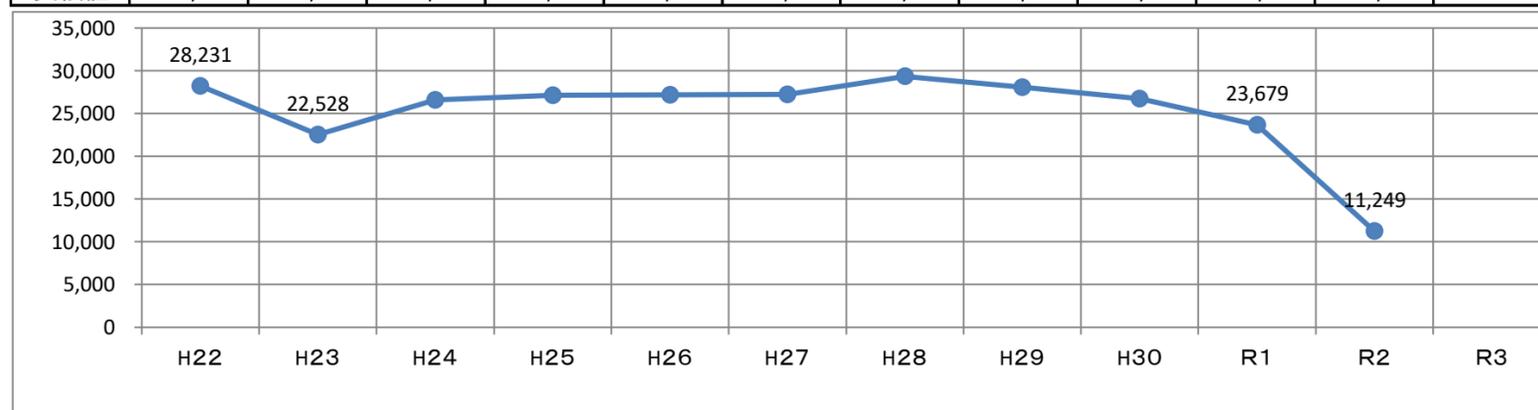
| 年度  | H22 | H23 | H24 | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | R1  | R2  | R3 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|
| 実績値 |     |     | 40  | 79  | 105 | 142 | 164 | 250 | 282 | 309 | 387 |    |



|                |  |
|----------------|--|
| 指標の変動要因と今後の見通し | <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の発生に伴い、民俗芸能団体の元へ出向き、芸能披露の様子を撮影した映像を配信する形式での開催とした。児童・生徒参加団体の出演が増えたため、目標値を上回った。(出演20団体、うち児童・生徒参加8団体)</li> <li>・児童・生徒に限定した事業ではないため、参加児童・生徒数は出演団体に左右される。</li> </ul> |
| 課題             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・公演事業(ふるさとの祭り)を活動の再開や継続の目標として位置づけ、サポート事業と一体的に民俗芸能の復活・発展に向けた支援を引き続き行っていく必要がある。</li> </ul>  |

2 まほろんの入館者数【目標値:30,000人以上(令和2年度)】 ※再掲

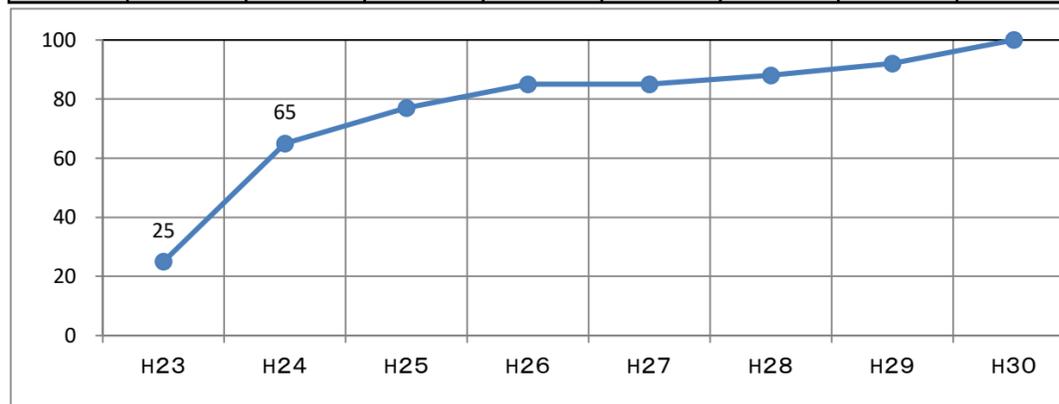
| 年度  | H22    | H23    | H24    | H25    | H26    | H27    | H28    | H29    | H30    | R1     | R2     | R3 |
|-----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|----|
| 実績値 | 28,231 | 22,528 | 26,597 | 27,127 | 27,166 | 27,227 | 29,341 | 28,102 | 26,731 | 23,679 | 11,249 |    |



|                |  |
|----------------|--|
| 指標の変動要因と今後の見通し | <ul style="list-style-type: none"> <li>・近年、郡山市や福島市に類似施設がオープンしたこと、加えて「コミュタン福島」などが開設されたことや、来館数における大きな割合を占める小学校等において、カリキュラムが過密になったことなどもあり、学校からの入館者数が減少している。また、社会情勢的にも団体旅行が減少傾向にある。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の流行により、令和元年度の第4四半期以降来館者数が減少し、令和2年度は大幅な減少となった。</li> <li>・魅力ある企画・イベントの実施やより充実した情報提供などサービス向上に努めていく。また、観光とのタイアップなども図っていく。</li> </ul> |
| 課題             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・リピーターの取り込みによる入館者の確保、県内外隣接地域の学校等に対するPRによる団体利用の確保などが課題である。</li> <li>・県広報メディア等を利用した周知による来館の促進に取り組んでいく必要がある。</li> </ul>  |

### 3 被災文化財の修復件数割合【目標値:100%(令和2年度)】

| 年度  | H23 | H24 | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|----|----|
| 実績値 | 25  | 65  | 77  | 85  | 85  | 88  | 92  | 100 | 完了 | 完了 | 完了 |



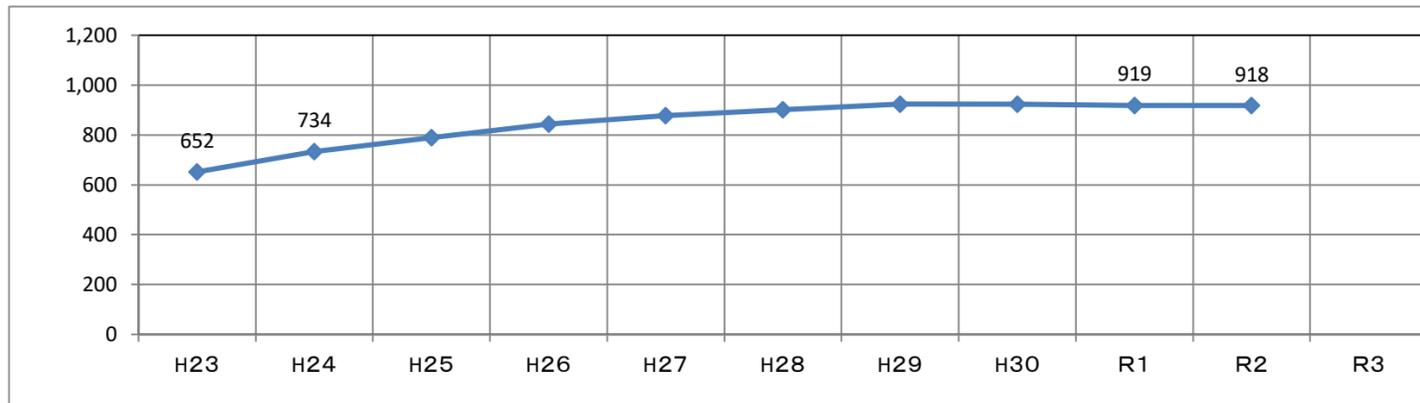
|                |  |
|----------------|--|
| 指標の変動要因と今後の見通し | ・東日本大震災により被災した国指定・県指定文化財の修復等保存事業について、県で対応すべきものについてはすべて対応済。 |
| 課題             | ・なし。   |

|         |  |
|---------|--|
| 推進施策の総括 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・被災文化財の修復が完了したこと、活動を再開した民俗芸能団体が現れるなど、一定の成果が図られた。</li> <li>・少子高齢化に加えて東日本大震災・原子力災害の影響で、民俗芸能をはじめとした地域の伝統文化の担い手や後継者不足により、依然として次代への継承が困難な状況が続く地域もあるため、引き続き支援に取り組む必要がある。</li> </ul> |
|---------|--|

○推進施策6 生活文化の充実

1 NPO法人認証件数【目標値:累計1,055件以上(令和2年度)】

| 年度      | H23 | H24 | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | R1  | R2  | R3 |
|---------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|
| 実績値(累計) | 652 | 734 | 790 | 843 | 877 | 902 | 924 | 923 | 919 | 918 |    |



|                |  |
|----------------|--|
| 指標の変動要因と今後の見通し | <ul style="list-style-type: none"> <li>・東日本大震災以降、認証件数は大幅に増加していたが、平成26年度を境に増加幅が縮小しており、平成29年度以降920団体前後で推移している。</li> <li>・現在は、設立する法人と解散する法人が同程度のため、同水準で推移すると想定される。</li> </ul> |
| 課題             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・NPO法人が自立的かつ継続的な活動ができるよう、引き続き、運営力の強化に向けた、各種情報提供等を行っていく必要がある。</li> </ul>   |

2 地域住民やNPO等による地域づくり活動に積極的に参加していると回答した県民の割合【目標値:上昇を目指す(令和2年度)】※福島県政世論調査項目

| 年度  | H24  | H25  | H26  | H27  | H28  | H29  | H30  | R1   | R2   | R3   |
|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 実績値 | 15.2 | 15.2 | 15.5 | 17.7 | 20.0 | 15.7 | 20.4 | 16.8 | 13.7 | 16.7 |

※ 福島県政世論調査項目は、通常の指標で図ることが困難な県民の意識について、県政世論調査結果を用い、県民の視点から県の取り組み状況を評価するものです。



|                |  |
|----------------|--|
| 指標の変動要因と今後の見通し | <ul style="list-style-type: none"> <li>・県政世論調査より、「あなたは住民やNPOなどによる地域活動に積極的に参加していますか。」という質問に対し「はい」5.8%で76人、「どちらかといえば『はい』」が10.9%で142人、合計218人で全体の16.7%であり、昨年度比3ポイント増となった。</li> </ul> |
| 課題             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・NPO法人の活動認知度の向上が課題である。</li> </ul>   |

|         |  |
|---------|--|
| 推進施策の総括 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・NPOの運営力強化の支援やワークショップ推進などの県民運動の推進に取組み、地域づくり、復興の促進を図った。</li> <li>・運営力強化の支援を行った団体を始めとするNPOの活動認知度を高めることや、多くの県民が地域づくり活動に積極的に参加・支援することを促進していく必要がある。</li> </ul> |
|---------|--|

○推進施策7 文化の交流の推進

1 グリーンツーリズムインストラクターによる受入人数【目標値:290,000人以上(令和2年)】

| 年   | H22     | H23     | H24     | H25     | H26     | H27     | H28     | H29     | H30     | R1      | R2     | R3 |
|-----|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|--------|----|
| 実績値 | 258,392 | 156,494 | 156,949 | 204,031 | 221,786 | 240,650 | 235,691 | 250,586 | 241,345 | 236,908 | 99,463 |    |



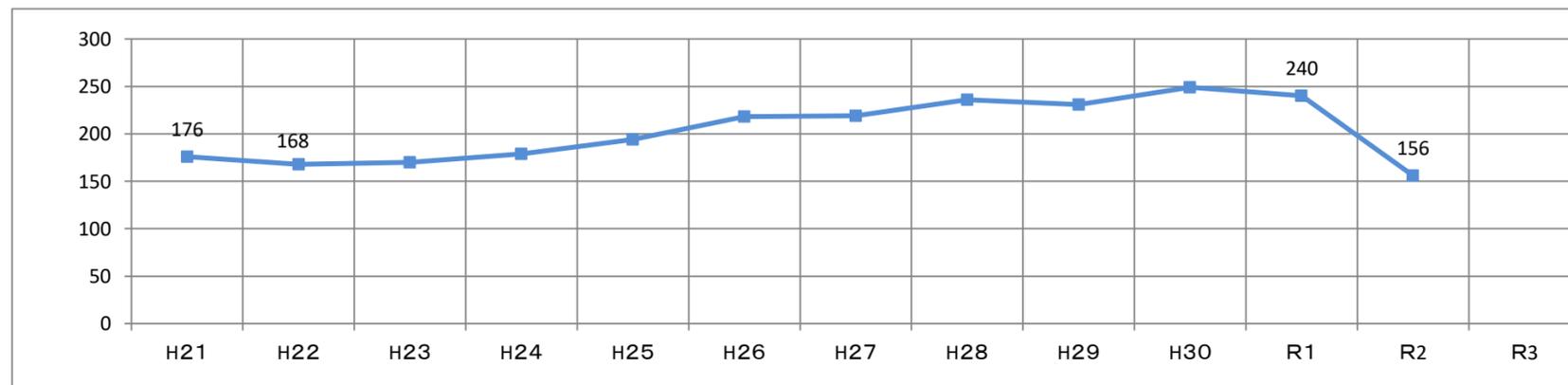
|                |  |
|----------------|--|
| 指標の変動要因と今後の見通し | <ul style="list-style-type: none"> <li>平成30年度から3年続けて前年実績より減少した。</li> <li>インストラクター数が減少傾向にあることや原子力災害による風評の影響により教育旅行が震災以前の水準まで回復していない。加えて、令和2年については、新型コロナウイルス感染症の拡大により受入れができず、これを機に受入れをやめる農家が増えていることにより大幅に減少した。</li> <li>原子力災害に伴う風評被害の影響に加え、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、震災前以前の水準の回復までは時間がかかると見込まれる。</li> </ul> |
| 課題             | <ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍における農山漁村体験の新たな観光コンテンツ造成と定着を図っていく必要がある。</li> <li>グリーンツーリズムインストラクター等の人材育成や掘り起こしを行う必要がある。</li> </ul>   |

2 声楽アンサンブルコンテスト全国大会の推薦及び公募団体数【目標値:260団体以上(令和2年度)】

| 年度  | H21 | H22 | H23 | H24 | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | R1  | R2  | R3 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|
| 実績値 | 176 | 168 | 170 | 179 | 194 | 218 | 219 | 236 | 231 | 249 | 240 | 156 |    |

※震災により中止

※新型コロナにより中止



|                |   |
|----------------|---|
| 指標の変動要因と今後の見通し | <ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症の影響で、練習等の活動自粛や全国規模も含めて各種の合唱大会が相次いで中止となる中で、令和2年度は感染拡大防止ガイドラインに即した対策を徹底して開催したが、練習不足や広域移動への不安などにより、応募団体数は大きく減少した。</li> <li>コロナ禍が収束するまでは、感染リスクに対する不安等から、応募団体数がコロナ禍前の状態に回復するには時間が係ると見込まれる。</li> </ul> |
| 課題             | <ul style="list-style-type: none"> <li>団体が安心して参加することが出来るよう、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策の実践及びその内容を周知していく必要がある。</li> </ul>   |

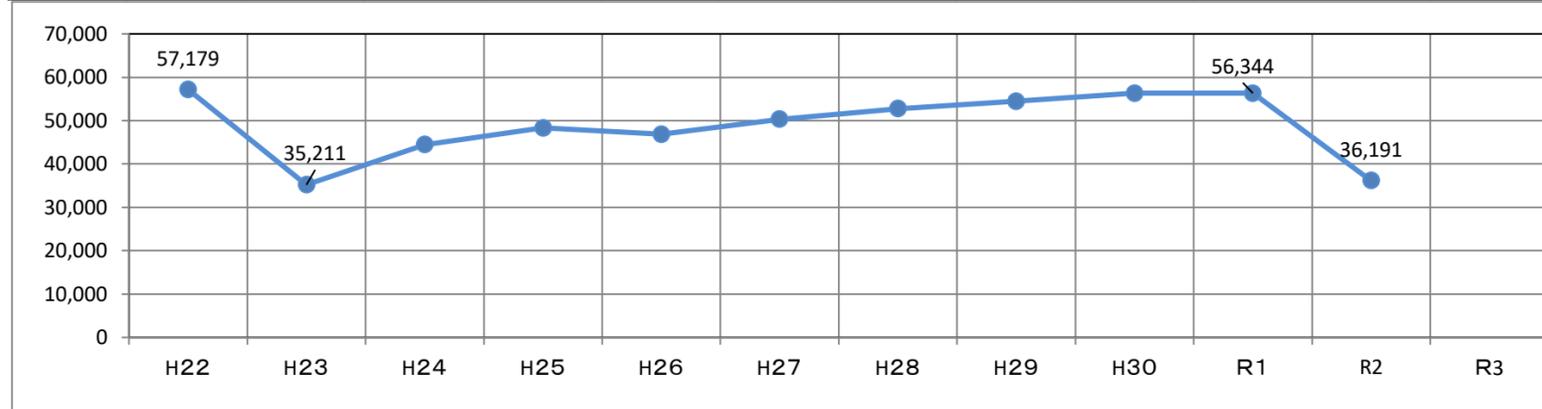
|         |   |
|---------|---|
| 推進施策の総括 | <ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年以降コロナ禍の影響で、指標上の実績は大きく落ち込むことになったが、計画期間全体を通すと、グリーンツーリズムインストラクターによる受入人数は震災前水準への回復傾向が見てとれるとともに、声楽アンサンブルコンテスト全国大会応募団体数は増加傾向にあり、本県が復興している姿や「合唱王国ふくしま」の全国発信に貢献した。</li> <li>県民の文化活動の活発化と地域の活性化に資するため、本県文化の発信及び文化交流について、まずはコロナ禍前の水準まで回復させる必要がある。</li> </ul> |
|---------|---|

○推進施策8 文化振興による地域づくり

1 観光客入込数【目標値:63,000千人以上(令和2年)】

(単位:千人)

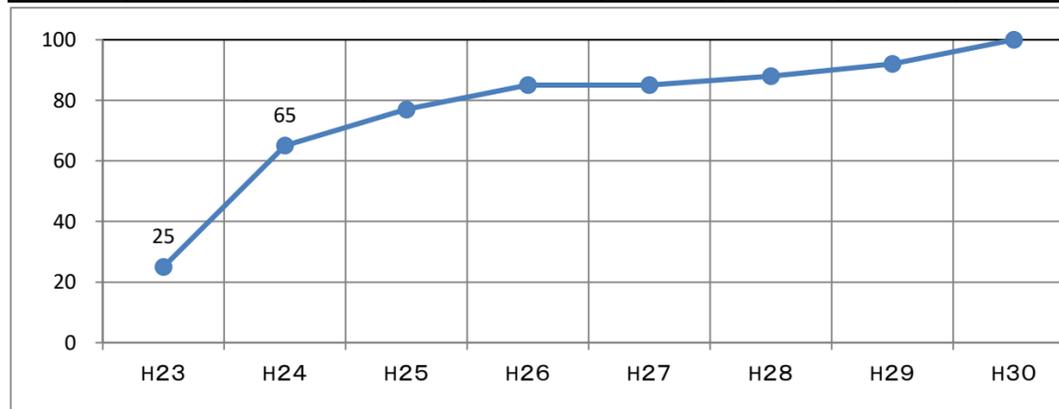
| 年   | H22    | H23    | H24    | H25    | H26    | H27    | H28    | H29    | H30    | R1     | R2     | R3 |
|-----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|----|
| 実績値 | 57,179 | 35,211 | 44,459 | 48,314 | 46,893 | 50,313 | 52,764 | 54,494 | 56,336 | 56,344 | 36,191 |    |



|                |   |
|----------------|---|
| 指標の変動要因と今後の見通し | <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響によるイベントの中止や移動自粛により、大幅に観光客が減少した。一方で、自然や屋外施設など感染リスクが少ないと思われる観光地点においては、令和元年度より観光客が増加したところもあった。</li> <li>・今後、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が収束すればイベント再開等により一定程度回復すると見込みであるが、新しい生活様式の定着により観光・イベントのスタイルが変わり、観光客の動向も変化する可能性がある。</li> </ul> |
| 課題             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな観光誘客策を推進し、安定的で継続的な国内観光需要を喚起する必要がある。</li> </ul>   |

2 被災文化財の修復件数割合【目標値:100%(令和2年度)】 ※再掲

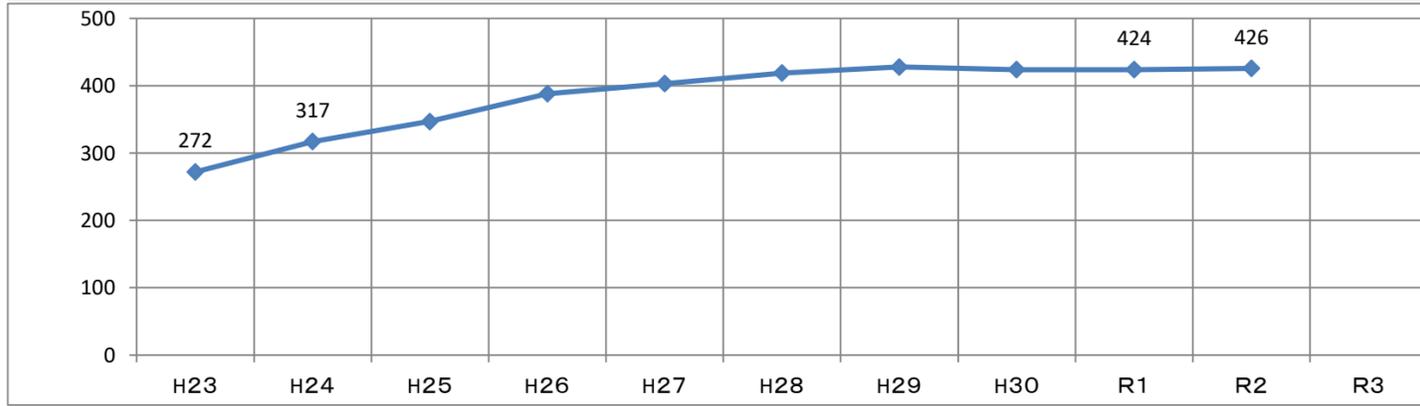
| 年度  | H23 | H24 | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|----|----|
| 実績値 | 25  | 65  | 77  | 85  | 85  | 88  | 92  | 100 | 完了 | 完了 | 完了 |



|                |  |
|----------------|--|
| 指標の変動要因と今後の見通し | <ul style="list-style-type: none"> <li>・東日本大震災により被災した国指定・県指定文化財の修復等保存事業について、県で対応すべきものについてはすべて対応済。</li> </ul> |
| 課題             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・なし。</li> </ul>   |

**3 学術・文化・芸術・スポーツを活動分野のひとつとしているNPOの認証数 ※再掲**  
**【目標値:470団体以上(令和2年度)】**

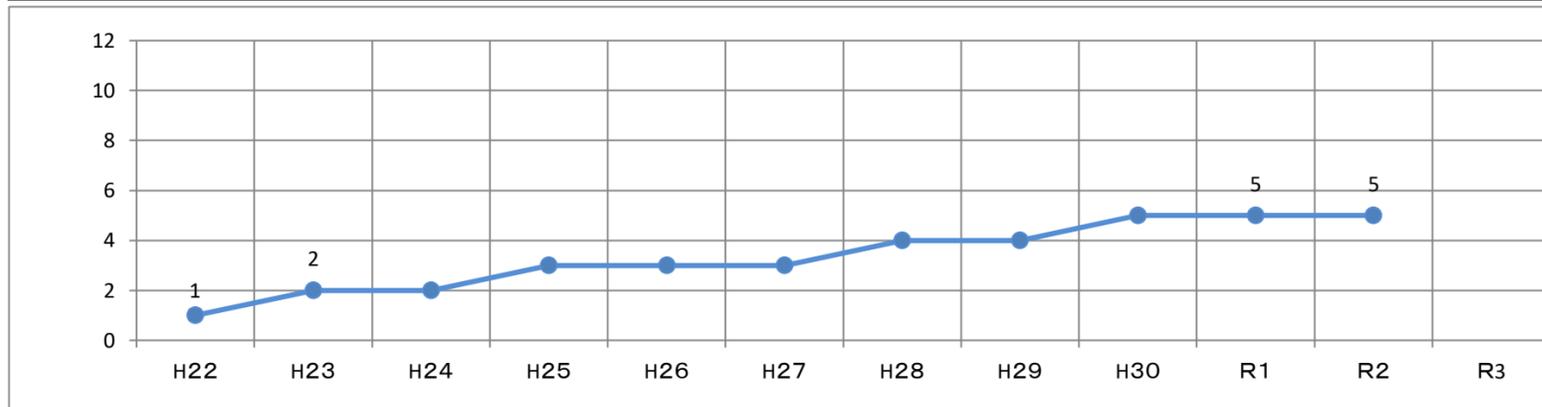
| 年度      | H23 | H24 | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | R1  | R2  | R3 |
|---------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|
| 実績値(累計) | 272 | 317 | 347 | 388 | 403 | 419 | 428 | 424 | 424 | 426 |    |



|                |   |
|----------------|---|
| 指標の変動要因と今後の見通し | <ul style="list-style-type: none"> <li>・認証件数は平成28年度以降420団体前後で推移している。</li> <li>・NPO法人全体の認証件数について、現在は、設立する法人と解散する法人が同程度で推移しているため、学術・文化・芸術・スポーツを活動分野のひとつとしているNPOの認証数も今後ほぼ横ばいで推移すると想定している。</li> </ul> |
| 課題             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・NPO法人が自立的かつ継続的な活動ができるよう、引き続き、運営力の強化に向けた、各種情報提供等を行っていく必要がある。</li> </ul>  |

**4 市町村景観計画策定団体数 【目標値:12団体以上(令和2年度)】**

| 年度      | H22 | H23 | H24 | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 | R3 |
|---------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|----|----|
| 実績値(累計) | 1   | 2   | 2   | 3   | 3   | 3   | 4   | 4   | 5   | 5  | 5  |    |



|                |  |
|----------------|--|
| 指標の変動要因と今後の見通し | <ul style="list-style-type: none"> <li>・市町村の合意形成に時間を要しており、近年横ばいとなっているが、これまでの啓発活動等により市町村の気運が高まりつつある。今後も国と連携した景観セミナーの開催や、景観アドバイザー派遣事業を推進し、団体数の増加を目指す。</li> </ul> |
| 課題             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・市町村等と一体となって豊かな自然や歴史的景観などの貴重な県民の財産を将来へ引き継いで行く必要がある。</li> </ul>  |

|         |   |
|---------|---|
| 推進施策の総括 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・民俗芸能継承に向けた各種支援の取組により活動を再開する団体も現れ、民俗芸能活動・披露の機会を通じて、地域コミュニティの活性化等に繋がっている。</li> <li>・次期計画の策定においては、文化芸術振興基本法の一部を改正する法律の趣旨である「観光、まちづくり等の各関連分野における施策との連携」を踏まえる必要がある。</li> </ul> |
|---------|---|

**○備考**

- 1 目標値(令和2年度)を設定している指標は、県の施策の努力目標です。
- 2 意識調査項目(推進施策6の「2 地域住民やNPO等による地域づくり活動に積極的に参加していると回答した県民の割合」)は、通常の指標で測ることが困難な県民の意識について、県政世論調査結果を用い、県民の視点から県の取組状況を評価するものです。